

平成28年3月15日
釧路信用組合

第2回経営審査会議の結果概要について

当信用組合は、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的として設けた、外部有識者3名により構成する「経営審査会議」の第2回目会議を開催しました。その概要につきまして、下記のとおり取り纏め致しました。

記

1、開催日時

平成28年1月27日（水） 15：00 ～ 16：30

2、開催場所

釧路信用組合 本店

3、出席者

(経営審査委員)

尾崎 泰文 (座長 釧路公立大学経済学部 准教授)

簗島 弘幸 (弁護士)

鈴木 直哉 (釧路商工会議所 理事事務局長)

(釧路信用組合 事務局)

岩田 豊 (理事長)

涌井 清一 (常務理事)

小倉 正 (常勤監事)

藤原 和巳 (総務部長)

4、事務局からの資料説明要旨

岩田理事長より平成27年度における仮決算の概況及び経営強化計画の履行状況について説明致しました。

また、前回第1回経営審査会において、委員から提言を受けた点についての取組状況を次のとおり説明致しました。

- ・人材の育成については、役職員に対する外部講師による研修会や能力向上を目的とした内部研修会を開催しました。また、職員のマインド向上策については、業績向上に応じた処遇改善の数値目標の設定等を、次期強化計画の策定に向け

て検討して参りたいと考えています。

- ・信用組合としての特性・機能発揮について、当組合の特性でありますフェース・ツアー・フェースの活動と広域店舗配置の2点を生かし、地域に根ざした金融機関として、地域活性化＝組合の存続基盤強化、地域創生に向けたクラウドファンディング組成・各町村観光フェアへの参加支援、その他にも日本政策金融公庫との連携協定・新規創業への出資支援等種々実施しております。
- ・リスク管理につきましては、多種多様のリスクに対し、その対応策を要領・マニュアルに則って管理しております。また、各リスクを定量化（数値化）し、ALM委員会でそのリスクが具現化した時の安全度の検証を行っています。

5、委員からの発言要旨

- ・業績が計画を上回るペースで推移していることは評価に値し、役職員皆さんで一生懸命取り組んでいることが窺われ、経営方針・方策については特段申し上げないが、人材確保については、信組の地域における活動・情報発信は組合のイメージ向上に繋がるので、更に強化していくべきと考える。
- ・経営強化計画の進捗率が先行していることは結構なことだが、それは以前から認識していた問題点改善の成果なのか、あるいは別の要因・取組による成果なのか、今後のポテンシャルの問題としてその点をお伺いしたい。
- ・道東道阿寒ICの完成により、釧路・白糠・阿寒3地区共に今後発展する様地元金融機関としても尽力されたい。

6、事務局からの発言要旨

- ・営業店の本部フォローや指示により、顧客へのアプローチの手法を変えた成果が出つつあります。
- ・現在、経営強化委員会を月一度開催し、施策の進捗状況を検証しており、現況の課題を洗い出したところ、ほとんどが人事に係る問題でした。この問題は常務会・経営強化委員会でも前向きに取り組んで行こうと考えており、議論を重ね効果に繋げていきたいと考えています。
- ・他方、現在当組合のホームページの全面改定を検討しており、情報発信力の強化に繋がりたいと考えております。又、今年5月16日に網走支店を新興住宅商店街地区に移転の予定であり、店舗に併設してしんくみ広場なるイベントスペースをオープンさせます。地元住民・企業、そして我々の情報発信スペースとしての活用を考えております。次回開催の際には、この二つのツールの活用状況、人材育成問題の進捗についてご説明したいと思います。
- ・昨年11月に開催した丹頂会（当組合親睦会）では、管内の食材を地元の提供で集めホテル料理にしたところ、大きな反響があり好評を得ました。顧客間の

交流にも成果がありました。又、昨年 3 月には地元菓子店 11 ヶ店によるスイーツフェスタを開催しこれも評判が良かったことから、この先も地域の活性化と地域とのつながり・強化に向けて幅広に考えていきたいと思ひます。

以上